

平成 28 年度 学年 [中 3] 教科 [技術・家庭]

科目・分野	週時間数	クラス	担当者	
技術・家庭	1	A～C	中前（別府）	
目 標	<p><技術分野> 実践的・体験的な学習活動を通して、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、適切に活用する能力と態度を身につける。</p> <p><家庭分野> 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を身につける。</p>			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	工夫・創造	技能	知識・理解
	<p>【家庭分野】家庭生活と消費について関心を持ち、生活をよりよくしようとする態度。</p> <p>【技術分野】情報に関する技術に関心を持ち、生活をよりよくするために進んで活用する態度。</p>	<p>【家庭分野】家庭生活と消費について、課題を見つけ、その解決を目指して工夫する力。</p> <p>【技術分野】課題解決のために技術を適切に活用して工夫する力。</p>	<p>【家庭分野】家庭生活と消費について調べ、発表する力。</p> <p>【技術分野】情報活用に必要な基礎的・基本的な技術を身につけ、適切に活用する力。</p>	<p>【家庭分野】家庭生活と消費について、生活をよりよくするために必要な基礎的・基本的な知識</p> <p>【技術分野】情報活用に必要な基礎的・基本的な知識。</p>
学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
一 学 期	期 末	<p>【家庭分野】</p> <p>4編わたしたちの消費生活と環境</p> <p>1章 わたしたちの消費生活</p> <p>2章 環境に配慮した消費生活</p> <p>3編わたしたちの成長と家族・地域</p> <p>1章 家族と家族関係</p> <p>2章 幼児の生活と家族</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな販売方法の種類や特徴、支払い方法について知る。 ・身近な消費トラブルの事例を取り上げ、その解決方法を知る。 ・消費者の権利と責任について理解し、消費者を守る法律や相談施設について知る。 ・消費生活が環境に与える影響について知り、環境に配慮した消費生活について考える。 ・幼児期を振り返り、家族とのかかわりや、自分と家族の生活について考える。 ・幼児の運動機能や生理的機能の発達とその特徴を知る。 ・情緒や社会性の特徴や発達の様子、幼児の生活習慣について知り、周りの人々とのかかわりについて考える。 	
二 学 期	期 末	<p>【技術分野】</p> <p>4編 情報</p> <p>2章 デジタル作品の設計・制作</p> <p>・プレゼンテーションソフトウェアの利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの重要性について考える。 ・幼児の成長を支援する社会施設や子どもを守る権利などについて知る。 ・目的に合った文書や図形、画像を利用して課題作成を行いながら、コンピュータの基本的な操作を身につける。 ・自分の考えを表現するために必要な素材を選び、利用しながら表現する力を身につける。 ・自分の考えや情報を効果的にまとめ、発表する方法について考える。 	
三 学 期	期 末	<p>・表計算処理ソフトウェアの利用</p> <p>3章 プログラムによる計測・制御</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算のしくみを知り、計算式や関数を用いた計算処理を行う。 ・表やグラフの作成を通して、利用目的に合った情報の処理を行い、工夫したまとめを行う。 ・計測、制御のしくみについて知り、コンピュータが使われた計測・制御により、安全で便利な生活ができていることを理解する。 	
評 価 の 方 法		定期テスト、実技テスト、課題の作成、提出物で評価する。		
学 習 活 動 の 特 徴		<p>【家庭分野】講義中心による学習プリントのまとめ、課題への取り組み</p> <p>【技術分野】コンピュータ教室での実習</p>		
授 業 の 形 態		ホームルーム単位の一斉授業・実習（技術分野ではTTを行う。）		
使 用 教 科 書		新しい技術・家庭 技術分野、家庭分野（東京書籍）		
使 用 副 教 材		なし		
用 意 す る も の		教科書、ファイル		
備 考				